

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課

担当名: 野生生物担当

内線: 3154

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B46	ニホンジカ捕獲促進事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	鳥獣保護管理対策費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律		宣言項目			
					分野施策	051247 生物多様性の保全		
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>近年、ニホンジカの生息数の増加や生息域の拡大に伴い、森林が破壊され、一部では裸地化した区域が拡大するなど、森林生態系に重大な影響を及ぼしている。このため、増加したニホンジカの個体数を減少させるため、シカの捕獲体制を強化し、森林生態系の保全を図る。</p> <p>(1) ニホンジカ捕獲事業 $\Delta 1,572$千円 委託料の契約差金の発生等に伴う減額</p> <p>(4) ニホンジカ捕獲効率向上のための技術開発経費節減による減額 $\Delta 98$千円</p>			<p>(1) 事業内容 年間約3,000頭のシカを捕獲しているが、森林被害の抑制には至っていないため、県が捕獲事業を実施し、更に捕獲圧を高める。</p> <p>ア ニホンジカ捕獲事業 県を実施主体とするシカの捕獲 34,119千円→32,547千円 イ ニホンジカ狩猟促進事業 狩猟におけるシカ捕獲体制の強化 15,000千円 ウ ニホンジカ個体分析調査事業 個体数管理の指標とする情報の収集 11,182千円 エ ニホンジカ捕獲効率向上のための技術開発 シカの移動実態の把握、捕獲方法の開発 1,050千円→952千円</p> <p>(2) 事業計画 ア ニホンジカ捕獲事業 捕獲計画策定: 通年、捕獲業務委託: 通年 イ ニホンジカ狩猟促進事業 ニホンジカ狩猟促進業務委託: 狩猟期間 ウ ニホンジカ個体分析調査事業 ニホンジカ個体分析調査業務委託: 通年(狩猟期間を除く) エ ニホンジカ捕獲効率向上のための技術開発 季節移動ルート・範囲の解明、森林保護柵を改良した簡易な捕獲柵の開発</p> <p>(3) 事業効果 ア ニホンジカが特に生息していると思われる地域や狩猟や有害鳥獣捕獲が行われていない地域等(鳥獣保護区、大学演習林、国有林等)において県が主体となって捕獲を行うことにより、捕獲頭数の上積みを図ることができる。 イ 私的狩猟とは別に業務として捕獲を委託することにより、猟友会による捕獲を促進することができる。 ウ 個体数管理の指標とする情報の収集により、ニホンジカによる生態系への影響や、林業被害防止対策の計画的な推進を図ることができる。 エ シカの季節的な移動の解明や簡易な捕獲方法の開発により、効率的な捕獲を実施することができる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ア 認定鳥獣捕獲等事業者等の民間が有する先進的な捕獲技術を活用することにより、効率的な捕獲を推進する。 イ 寄居林業事務所職員の活用による事業展開</p> <p>(5) 補正予算の概要 ア 委託料の契約差金の発生に伴う減額 $\Delta 1,527$千円 イ 経費節減による減額 $\Delta 143$千円</p>					
2 事業主体及び負担区分								
(1)の一部(国1/2、県1/2) 上記以外(県10/10)								
3 地方財政措置の状況								
地方交付税(単位費用) (区分)林野行政費(細目)鳥獣行政費 (細節)鳥獣行政費 (積算内容)鳥獣保護事業の実施等に関する事務								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×0.7人=6,650千円								
予算額		財源内訳						補正後の 予算額
		国庫支出金	繰入金	諸収入			一般財源	
決定額	$\Delta 1,670$		$\Delta 1,670$				0	59,681
現計額	61,351	16,941	44,315	95			0	